

# 啓光だより

発行元  
社会福祉法人啓光福祉会  
東京都多摩市和田1717  
042(375)7303

## この地に建ち続けて

く地域の一員として共に生きるく

社会福祉法人啓光福祉会の前身である「愛泉会」が昭和16年に東京市牛込区に開設され、多摩市に降り立つたのが昭和37年のこと。それから施設建て替えや法人名の改名などを経て現在に至るまでの半世紀間、当法人はずっとこの地に立ち続けています。

この間、当法人は『地域に溶け込むこと』を理念として掲げ、門を開放し地域との交流に努めるとともに、お祭りやイベントなど、地域の活動に積極的に参加してきました。そして地元の自治会や商店会をはじめさまざまな活動団体の方々と係わり、役割を担うことで、法人は地域の一員としての実感を得られるようになりました。



「愛の泉」の頃の啓光学園

**【地域交流から地域貢献へ】**  
現在、社会福祉法人には地域貢献が求められています。

啓光福祉会では、市内の法人間ネットワークによる地域貢献事業の構築に向けて参画しているところであり、事業の検討にあたっては、地域を理解することがとても大切です。住民の一員として同じ視点に立ち、課題を共有し、共

## ○啓光福祉会の今後の予定

- 6月20日 評議員会
- 7月28日 新堂公園夏祭り
- 8月18日 からきだ夏祭り

※夏祭りの  
ボランティア募集中



小野神社、末社祭の様子

**【誰もが楽しめる場づくり】**  
多摩市一ノ宮にある小野神社では、4月の第一日曜日に末社祭（まつしやさい）が行われています。今年も多くの方が地元の方々により神輿が担がれ、山車や大太鼓とともに威勢よく街道へ繰り出されていました。啓光福祉会ではこのような季節の祭礼に合わせて境内にテントを張り、様々な屋台フードを揃えて祭りを盛り上げています。綿あめやチヨコバナナ、焼きそばなど、食べやすいものを安価で提供

するよう心がけています。  
近年の歴史探訪やパワースポットのブームもあり神社はここ数年賑わいを増し、世代で越えた多くのひとが集まります。そこへ啓光福祉会の取り組みも一役担っていると、神社関係の方からのお言葉を頂きました。そんな声に支えられながら、これから誰もが楽しめる場作りに努めていきたいと思います。

(啓光えがお施設長・登坂晃)

通の目標に向けて協働する中で見つけられる、社会福祉法人としての役割があると考えています。またそれは法人としての専門性を生かしたものでなければなりません。

当法人は、これまでの地域交流の時代に築いた係わりを土台に、対話を通じて検討を進めていきたいと思います。そしてこれが、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けた筋道であることを願っております。

## 平成 30 年度 事業計画

各事業所の取り組みとしては、以下のとおりです。定した組織となるよう努めて参ります。

平成 30 年度は改正障害者総合支援法の施行や市町村における障害者基本計画・障害福祉計画の策定、地域共生社会の実現等、福祉が大きく変わるスタートの年となります。

この変革の時代に合わせ、必要とされるサービスについて中長期的に検討を重ねていきます。

の中でも今年度は、重度障害者のグループホーム設置に向けての検討をはじめ、地域生活支援拠点整備への参画、地域貢献活動の検討を行っていきます。

また、これらの事業展開を進めるうえで法人の機能強化や中核人材の育成も併せて行うと共に、災害時における事業継続

### 相談支援センター (計画相談)

利用者の家庭環境を含めた生活全般を見守り、安心した生活を送るための相談やサービス利用の提案を行います。

### 啓光ホーム (グループホーム)

自分らしい生活が送れるよう健康管理や精神的なケアにも力を入れると共に、福祉サービス第三者評価を受審してより良いサービスとなるよう点検作業を行います。

### 啓光えがお (生活介護)

日中活動の場としての更なる充実が図れるよう、利用者の役割の確立と活動の継続性の向上のために、年間を通して職員の支援力を強化する研修を実施します。

### なかまの樹 (重心通所)

業務マニュアルの策定と、変化する利用者や家族のニーズに対応した柔軟的な運営を行います。

### 啓光学園 (入所施設)

限られた数の職員で効率的な利用者支援を実践するために職員配置を組み直し、日常の活動と生活場面の支援の充実を図ります。

## 新人職員・異動職員紹介



啓光えがお  
生活支援係  
安江 みゆき



啓光えがお  
生活支援係  
小室 厚美

4月から、啓光えがおのサービス管理責任者を担当することになりました。学卒後、縁あって知的障害児・者の仕事に携わつてきました。よろしくお願ひいたします。



啓光えがお  
生活支援係  
宮城 利仁



啓光学園  
生活支援係  
伊東 望

4年間大学で保育や福祉を学び今年度から啓光学園職員として働くことになりました。明るく笑顔で利用者さんと過ごしていきたいです。

### ◇異動職員一覧◇

( ) 内は旧事業所

#### <啓光学園>

生活支援課生活支援係長

セバズ管理責任者

北田 創 (なかまの樹)

生活支援課生活支援員

瀧 真樹 (なかまの樹)

生活支援課生活支援員

三澤 砂里 (啓光えがお)

#### <なかまの樹>

なかまの樹係長

石井 義浩

(啓光学園)

なかまの樹支援員

堀江 慎也

(啓光学園)

#### <啓光えがお>

生活支援係

久保田 広人 (啓光学園)

生活支援係

吉岡 文子 (啓光学園)

4月より啓光えがおの園芸・バイオ班に配属になりました。はじめは色々とご迷惑ばかりおかずすると思いますが、先輩方の仕事を学ばせてもらいながら頑張りますので、よろしくお願い致します。



公園などに出かける事も  
児童期の重要な支援の一つです

現在、啓光学園の児童利用者は男子4名、女子5名の9名在籍しております。

昨年発足したプロジェクトチームを中心に、幼児・児童期における日常生活技術習得、統合感覚、遊びや学習に対する指針を作成し、職員全員で支援に取り組んでいます。さまざまな視点から利用者の皆さんにあつた支援方針を探しておられます。

導入後はご自身で見たい動画や音楽を検索して楽しんでいる方が多く、新たな余暇の過ごし方として定着しています。また、言葉だけでは分かりにくい事柄や外出する場所なども、実際の画像などを検索して確認して頂く事でイメージを鮮明にしていました



Youtubeで昔懐かしい動画を検索することが人気

昨年11月より2階3階の各生活フロアに利用者の皆さんで使えるパソコンを1台ずつ用意しました。使用するにあたって周辺機器の要望や気持ちよく使うための意見の聞き取りを行い、なるべく反映できるように対応しました。

## 啓光学園／児童

## △各事業所のトピックス▽

## 啓光学園／成人



心機一転初心に戻って頑張ります!!  
(左から後藤・宮田・中富)

## 啓光学園／生活介護

だけることもあり職員とのコミュニケーションツールとしても大いに活躍しています。

新年度を迎える生活介護は従来の3グループを併せて一つの事業体制とし、和田・ピロティー活動・農園活動・さら作業所の4カテゴリーに分けて運営を開始しました。

生活介護班長の中富、宮田、専従スタッフの後藤の3人を中心活動を行なっています。4月からの新しい取り組みのため、改善すべき部分もありますが、一日も早く落ち着いて充実した生活介護が提供できるように精一杯頑張っています。



滝乃川学園での交流会の様子  
桜の下で親交を深めました

なかまの樹では、昨年度、滝乃川学園成人部、生活介護(通所)の皆さんと昨年9月と今年3月に交流会を行いました。9月は啓光ホールで音楽、施設との交流はあまりありませんでしたが、車で10分程度で行ける距離の為、実現することができました。

なかまの樹では、昨年度、滝乃川学園成人部、生活介護(通所)の皆さんと昨年9月と今年3月に交流会を行いました。9月は啓光ホールで音楽、施設との交流はあまりありませんでしたが、車で10分程度で行ける距離の為、実現することができました。

## なかまの樹

## 啓光えがお



4月2日の入所式の様子

啓光えがおは、4月から1名の新メンバーが加わり、総勢53名となりました。4月2日の入所式では、52名の先輩たちに迎えられて、少しあはにかんだ表情が印象的でした。なごやかで温かい式典のあと、昼食は満開の桜を見ながら、利用者も職員も一緒にスカイデッキでいただきました。

支援者側も新しい職員を迎

え少し緊張気味に始まつた啓

光えがおの新年度。これまで

以上に明るく楽しいみんなの

「じごと場」として、安心して

通っていただけの居場所とし

て、力を合わせて頑張ってい

きます。

先日、既にほとんどの桜は散ってしまった後でしたが3月と申します。この日は、北光学園へ異動となりました北田と申します。「サービス管理責任者（「サビ管」）ついて何？」という声をよく耳にします。そこで、サビ管について少し紹介してみたいと思います。

障害福祉サービスを行っている施設はサビ管の配置が必須で、当法人では啓光学園（施設入所支援）、なかまの樹、啓光えがお（生活介護）、啓光ホーム（共同生活援助）に配置しています。

学園でのサビ管の仕事としては、利用者の皆さんに合わせた個別支援計画の作成を基本に、支援員が適切に支援を行えるようサポートすることや、計画に沿った支援がきちんと出来ているか確認を行うなど、いわばサービスの監視役やまとめ役を担います。

障害のある方の意思確認、意



公園にて皆さんで記念撮影

その日の天気や利用者の皆さんの予定に合わせ臨機応変に行動できるところがホームのメリットでもあります。

## 啓光ホーム

4月より、なかまの樹からサービス管理責任者として啓光学園へ異動となりました北田と申します。「サービス管理責任者（「サビ管」）ついて何？」という声をよく耳にします。そこで、サビ管について少し紹介してみたいと思います。

障害福祉サービスを行っている施設はサビ管の配置が必須で、当法人では啓光学園（施設入所支援）、なかまの樹、啓光えがお（生活介護）、啓光ホーム（共同生活援助）に配置しています。

思決定をどう行うのか、また家庭とは違う入所生活をいかに豊かなものにできるかなど様々な難しさがありますが、支援員と協力しながら出来る限り利用者の皆さんのが望む生活を提供できるようにしていきたいと思います。



### 編集後記

平成30年度は総合支援法の改正法の施行や市区町村の福祉関連の計画策定など

の福の実現に向けた取り組みが進んでいます。法人もそういった世の流れを敏感に感じ取り、運営方針や職員体制などを世相にあつた方向に変化させていく必要があります。利用者皆さん日々と共にそういう変化についても紙面でお届けできればと思っています。